

「事実よりも信じる心が大事」な日本
～シリア人質事件と旅券発給拒否から見る日本の現在～

【戦争の現場で何を取材するか】

- 2011年から始まったシリアの反政府デモは、徹底的な弾圧を受けて武力闘争へ
- 2012年、内戦状態となったシリアを取材し、政府軍の無差別攻撃と反政府側地域の自治の様子を報道番組で発表
- 自国民弾圧の口実に使われる「テロ対策」—「テロ」と言うてはいけない理由
- 事実の積み重ねで陰謀論に立ち向かう—現場取材で何を取材できるか

【シリア拘束事件の真相】

- 拘束者は何者か
- 日本政府は何をしていたか
- 「身代金が払われた」「政府が救出した」がデマである根拠
- 解放の理由—人質事件は「身代金か殺すか」の2択ではない

【戦争取材を否定する旅券発給拒否】

- 「トルコから入国禁止された者に旅券を出すと全世界から信用を失う」は本当か
- 「取材のためにシリアに密入国した者は全世界で密入国する」は本当か
- 「身代金払った」が真実だとしても、それは全世界渡航禁止に値するのか

【「日本政府スゴイ」と信じたい日本人】

- 何も根拠がなくても「政府が救けた」と信じたい
- 旅券発給拒否は「きっと裏にスゴイ理由があるに違いない」と信じたい
- 「自己責任論」が日本を衰退させる
(了)